

令和7年度 山口市中心市街地活性化基本計画の定期フォローアップに関する報告

令和8年5月

山口市（山口県）

○計画期間：令和3年7月～令和9年3月（5年9月）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 令和7年度終了時点（令和8年3月31日時点）の中心市街地の概況

本市は、平成19年5月に「第1期山口市中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成19年5月から平成25年3月まで）」、平成26年3月に「第2期山口市中心市街地活性化基本計画（計画期間：平成26年4月から令和2年3月まで）」の認定を受け中心市街地の活性化に取り組んできた。この間、中心商店街の空き店舗数が減少し、中心市街地内の居住人口の維持が図られるなど、一定の効果を発現することができたものの、中心市街地におけるまちの老朽化への対応や、まちなかの持つ魅力の更なる向上など、様々な課題も浮き彫りになったことから、令和3年6月に「第3期山口市中心市街地活性化基本計画」の認定を受け、中心市街地の活性化に向けた取組を進めている。

令和7年度は、第3期計画の終盤に向けた重要な年度であると同時に、令和9年度からの第4期計画を見据えた移行期として、各事業の着実な推進とともに、次期計画につながる課題整理や試行的取組を意識して事業を展開した。

新規出店支援については、引き続き「あきないのまち支援事業」等を活用し、空き店舗対策に取り組んだ。店舗の入替は継続して発生しているものの、タウンマネージャーを中心とした空き店舗情報の共有体制により、閉退店から一定の期間内での出店につながるケースも見られ、中心商店街の営業店舗数は概ね横ばいで推移している。

既存店舗支援については、「山口市中心商店街賑わい創出事業」等を通じ、個店の魅力向上や新規顧客獲得に向けた取組を継続した。加えて、SNS等を活用した情報発信など、今後の商環境の変化を見据えた取組も進められた。

一方で、中心商店街を取り巻く環境は、人口減少や消費行動の変化、電子商取引の定着等の影響を引き続き受けていると推測され、商店街等通行量は大きな回復には至っていない。

ただし、イベント実施の際や、公共施設周辺では、時間帯や曜日によって人の滞留が見られるなど、エリアや場面を限定した賑わいの兆しも確認されている。また、中心商店街を歩きたくなる空間とするための「歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード）」では、安心安全な歩行空間とするためのインターロッキング舗装への改修によるバリアフリー化が進捗しており、従前よりも明るい印象で滑りにくく歩きやすくなり、全体の完成イメージを共有できるようになったことから、来街者も商店街関係者も今後の新規出店、来街者増加などの効果に期待している。

なお、令和7年度の新本庁舎棟の本格供用開始を契機に、市民の来庁動線や日常的な利用が徐々に定着しつつある。行政機能の充実のみならず、今後、市民交流棟や庁舎前広場も完成してくることから、市役所周辺エリアが中心市街地における商業ゾーンと教育文化ゾーンとの連携におけるハブの役割を果たすことが期待される。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1) 居住人口

基準日：毎年度1月1日

(中心市街地地域)	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)	令和8年度 (最終年度)
人口	4,625	4,669	4,652	4,786	4,788	4,760	
人口増減数	181	44	-17	134	2	-28	
自然増減数	-28	-36	-43	-50	-52	-43	
社会増減数	214	83	27	184	54	15	
転入者数	464	367	273	481	317	253	

(2) 小売販売額

単位：百万円

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)	令和8年度 (最終年度)
市全体	-	455,679					
中心市街地	-	16,535					

(3) 事業所数

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)	令和8年度 (最終年度)
市全体	-	8,289					
中心市街地	-	566					

(4) 公示地価

単位：円/㎡

	令和2年度 (計画前年度)	令和3年度 (1年目)	令和4年度 (2年目)	令和5年度 (3年目)	令和6年度 (4年目)	令和7年度 (5年目)	令和8年度 (最終年度)
道場門前2-8-21	64,000	64,000	64,000	64,400	64,900	65,800	
米屋町3-19	85,600	84,500	84,500	83,600	82,800	82,000	

2. 令和7年度の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

商店街等通行量の減少は依然として続いているものの、営業店舗数や新規出店の動き、中心市街地人口の維持・増加傾向など、計画に位置付けた事業の実施による一定の効果が出ていると評価する。

特に、第3期計画で重点的に取り組んできたアートやクリエイティブ分野、人材育成を目的とした事業については、一過性の賑わい創出にとどまらず、中心市街地に関わる新たなプレーヤーが育ち始め、地元コミュニティとの関係性や、つながりが生まれつつある点を評価する声があった。

一方で、来街者数の増加を数値として捉えることの難しさが改めて認識され、今後は「通行量」だけでなく、「滞在」「関係人口」「日常的な利用」といった視点を重視した評価指標や取組が必要であることが、共通の理解として確認された。

令和8年度はデスティネーションキャンペーン（DC）や、第4期計画の策定が本格化する年度となることから、協議会としても関係主体間の連携を一層強化し、次期計画に向けた方向性のすり合わせと、実行体制の検討を進めていく必要があることを再確認した。

Ⅱ. 目標ごとのフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	基準値からの改善状況	前回の見通し	今回の見通し
求心力のある商業・業務エリアの形成	中心商店街営業店舗数	275店舗 (R2年度)	281店舗 (R8年度)	279店舗 (R7年度)	B	A	A
	中心商店街への新規出店数	83店舗 (H27～R1年度 累計)	96店舗 (R3～8年度 累計)	69店舗 (R3～7年度 累計)	—	A	A
交流と創造による来街機会の創出	商店街等通行量 (通常時の平日・休日平均)	34,700人/日 (H28～R2年度 5年間平均)	36,800人/日 (R8年度)	27,247人/日 (R7年度)	C	C	C
誰もが安心して過ごすことができるまちへの再生	中心市街地における建物更新件数	3件 (H27～R1年度 累計)	12件 (R3～8年度 累計)	10件 (R3～7年度 累計)	B	A	A

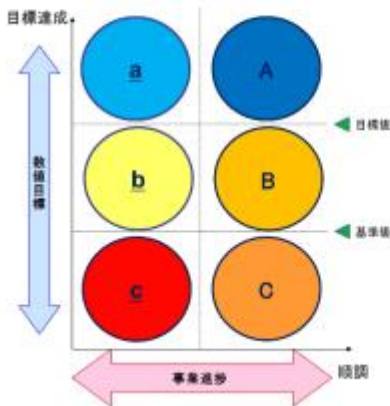
＜基準値からの改善状況＞

最新値が基準値や目標値と比較してどうであるかで判断 A：目標達成、B：基準値より改善、C：基準値に及ばない ※上記について、関連する事業等の進捗状況が順調でない場合は、英字を小文字にして下線を引いて下さい。（例：a、b、c）

＜目標達成に関する見通し（※2）＞

計画終了時の数値が、基準値や目標値と比較してどのような見通しかで判断

A	目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）
a	目標達成が見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）
B	目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調）
b	目標達成が見込まれないが基準値を上回ることが見込まれる（関連する事業等の進捗状況が順調でない）
C	目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調）
c	目標達成及び基準値を上回ることが見込まれない（関連する事業等の進捗状況が順調でない）



※目標値を現状数値の悪化率の抑制としている目標指標については、目標値と比較して数値が大きい場合には、「目標達成」、目標値には満たないものの目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より大きい場合には「基準値より改善」、目標年度の推計値（事業を実施しなかった場合）より小さい場合には「基準値より悪化」として算出する。

2. 目標達成見通しの理由

「中心商店街営業店舗数」については、既存店舗の営業力の強化支援策や新規出店に関する支援事業の拡充を図りながら継続して実施することとしており、昨年度に比して店舗数が微減したものの、十分に目標達成が見込まれる見通しとした。

「中心商店街への新規出店数」について、現行の出店数のままだと目標達成に遠い感があるものの、商店街唯一の百貨店の地下フロアに進出を予定している大手スーパーの出店によるプラスの波及効果が期待されるため、目標達成は見込まれる見通しとした。

「商店街等通行量」については、歩きたくなるまちなかの形成に向けた「まちなかウォーカブル」の取組を進めるほか、各種事業の実施により来街機会の創出を図る中で、前年度よりは来街者が微増したものの、基準値にも満たない状況において、計画期間中における目標値の達成は困難である見通しとした。

「中心市街地における建物更新件数」については、従前の住宅市街地総合整備事業に関連する工事の実施が予定されており、老朽建築物等の更新が計画的に図られることから目標達成が見込まれる見通しとした。

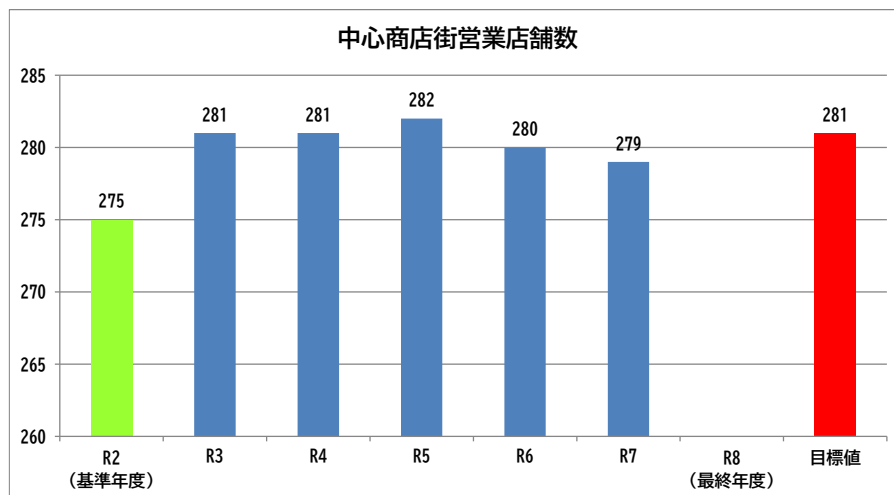
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

前回見通しからの変更なし。

4. 目標指標ごとのフォローアップ結果

(1)「中心商店街営業店舗数」、「中心商店街への新規出店数」※目標設定の考え方認定
基本計画 P64～P66 参照

●調査結果と分析



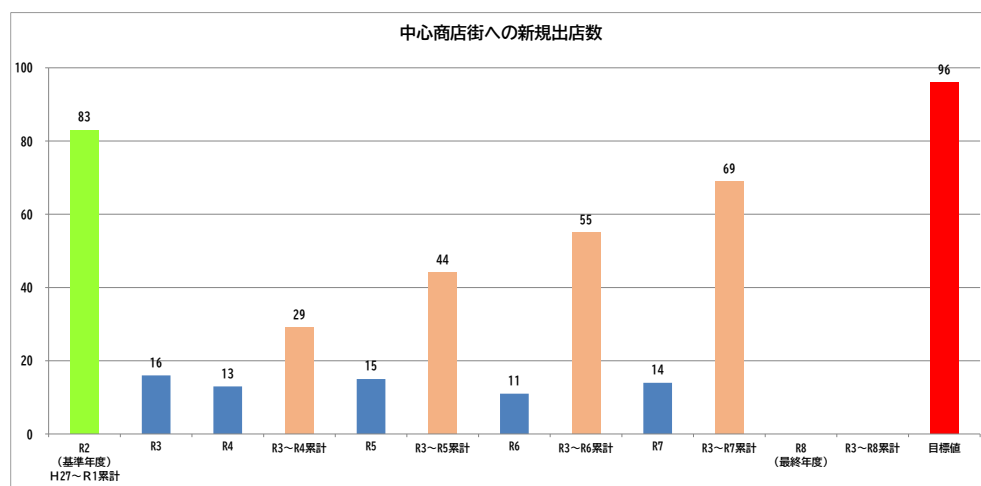
年	店舗
R2 (基準年度)	275
R3	281
R4	281
R5	282
R6	280
R7	279
R8 (最終年度)	
目標値	281

※調査方法：毎年行う中心市街地の商店街等の営業店舗数調査

※調査月：10月末

※調査主体：山口市

※調査対象：山口市商店街連合会に加盟する商店街に面して立地した店舗等



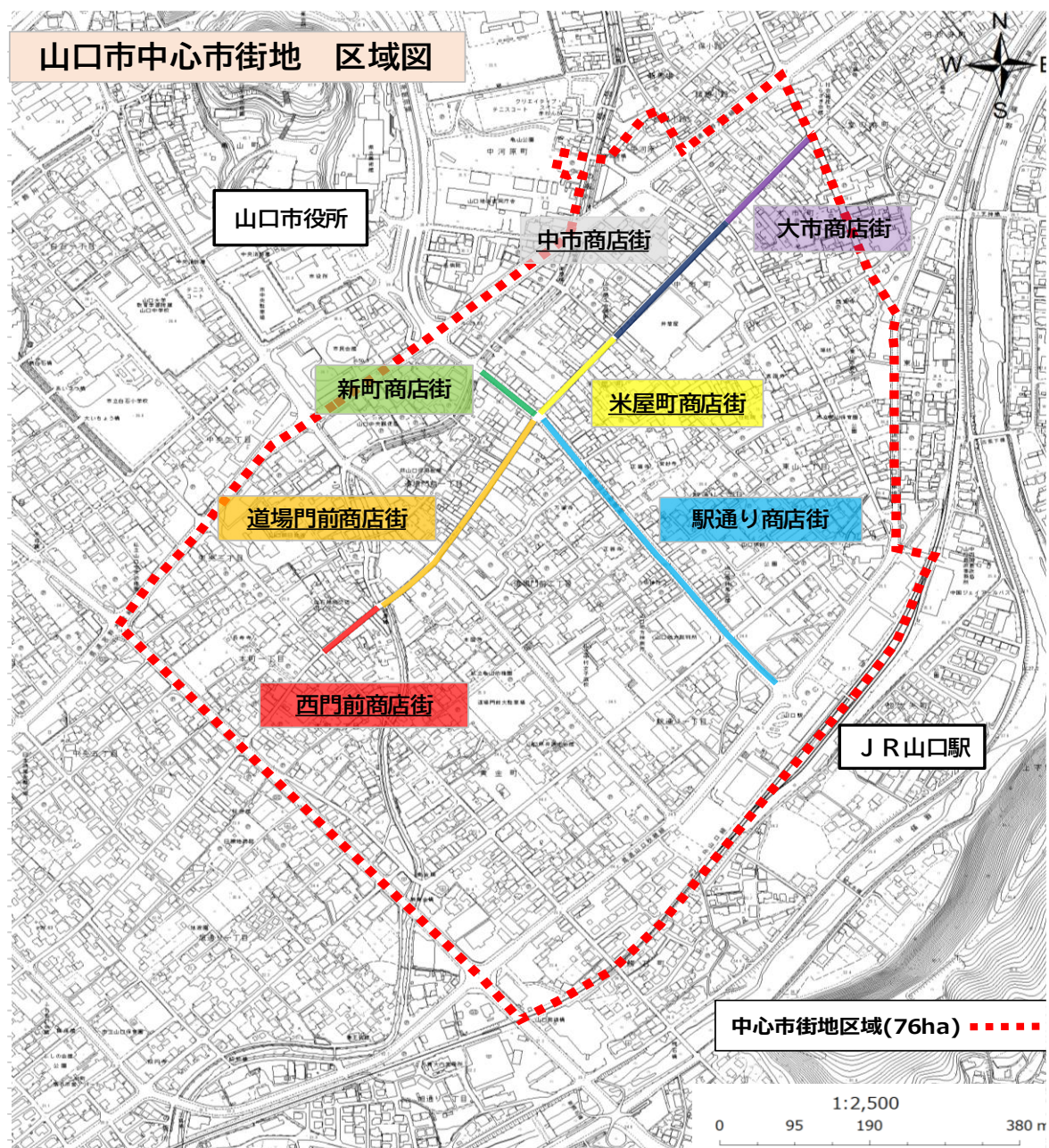
年	店舗
R2 (基準年度)	83
R3	16
R4	13
R3~R4累計	29
R5	15
R3~R5累計	44
R6	11
R3~R6累計	55
R7	14
R3~R7累計	69
R8 (最終年度)	
R3~R8累計	
目標値	96

※調査方法：タウンマネージャーの行う中心商店街の店舗数調査

※調査月：3月末

※調査主体：山口市中心市街地活性化協議会（街づくり山口）

※調査対象：山口市商店街連合会に加盟する商店街に面して立地した店舗等



〈分析内容〉

「中心商店街営業店舗数」については、調査月となる10月末時点において279店舗となっている。

17店舗の閉退店があったものの、「あきないのまち支援事業」ほか各種事業の実施により、「中心商店街への新規出店数」については、新たに14店舗の出店実績があった。

タウンマネージャーによる空き店舗情報のワンストップ化が功を奏しており、中心商店街への出店意欲は継続しているものと考えられる。

出店業種の傾向は、飲食業のほかにサービス業が増加傾向にある。退店の要因としては、営業不振や後継者不足などが挙げられ、建物老朽化や貸主の相続問題に伴う貸出不能物件の増加も課題となっている。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①あきないのまち支援事業（山口市）

事業実施期間	平成20年度～【実施中】
事業概要	空き店舗への新規開業者に対して、出店時の店舗改修に係る費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和3年7月～令和9年3月（令和3年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値：新規出店数 年平均8店舗 最新値：年平均9.4店舗 令和7年度は9件の補助申請・実績があり、令和3年度から累計47件の実績があった。
事業の今後について	令和8年度も、あきないのまち支援事業を継続して実施し、空き店舗への出店促進を図る。

②店舗改修支援事業（山口市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	老朽化や店舗一体型住居が原因で長期間空き店舗となっている物件をまちづくり事業者が借り受け、リノベーション等の手法により建物を再生し、テナントとして出店者にサブリースする事業に対して改修費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（内閣府）（令和7年度） 〔認定基本計画：地方創生推進交付金（内閣府）（令和3年度～令和4年度） デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和5年度～令和6年度補助金）〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	（店舗取得支援事業と合わせての事業目標値・最新値） 事業目標値：新規出店数 年平均1店舗 最新値：年平均0.2店舗 令和7年度は、問い合わせや、実施に向けた協議はあったものの実績はなかった。
事業の今後について	令和8年度は、店舗改修支援事業としての交渉案件は現時点ではない。

店舗取得支援事業（山口市）

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
事業概要	商店街組合等がアーケードに面した店舗1階部分の商業床を買い取り、にぎわいの創出に資する店舗としてサブリースして運営する事業に対して取得費の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（内閣府）（令和7年度）

	[認定基本計画：地方創生推進交付金（内閣府）（令和３年度～令和４年度） デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和５年度～令和６年度補助金）]
事業目標値・最新値 及び進捗状況	（店舗改修支援事業と合わせての事業目標値・最新値） 事業目標値：新規出店数 年平均１店舗 最新値：年平均０．２店舗 令和７年度は、実績がなかった。
事業の今後について	令和８年度は、店舗取得支援事業としての交渉案件は現時点ではない。

③中心商店街開業サポートセンター事業（山口市）

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	空き店舗に関する情報の収集、発信、出店相談窓口、各種支援の案内等を一元的に集約し、開業につなぐ事業
国の支援措置名及び 支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値 及び進捗状況	（多様性あふれる商店街推進事業と合わせての事業目標値・最新値） 事業目標値：新規出店数 年平均１店舗 最新値：年平均８店舗 中心商店街等の空き店舗に関する情報をまちづくり事業者のホームページに一括掲載しており、出店に関する相談・支援も併せて受付けている。令和７年度の問い合わせ件数は１８件で、そのうち５件が出店した。
事業の今後について	今後も継続して実施し、中心商店街への出店を促進し、にぎわいの創出を図る。

多様性あふれる商店街推進事業（山口市）

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	百貨店との連携により空きスペース・空き店舗等を活用し、市内各地域の魅力ある特産品の販売や地域資源の情報発信、山口ならではの商品販売やサービス、教育的なコンテンツやアクティビティの提供等、商業活動以外も含めた様々なプレイヤーの多様な活動の展開を図る場を通年で運営する。
国の支援措置名及び 支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第２世代交付金）（内閣府）（令和７年度） [認定基本計画：地方創生推進交付金（内閣府）（令和３年度～令和４年度） デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和５年度～令和６年度補助金）]

事業目標値・最新値 及び進捗状況	(中心商店街開業サポートセンター事業と合わせての事業目標値・最新値) 事業目標値：新規出店数 年平均 1 店舗 最新値：年平均 8 店舗 山口井筒屋 2 階に地域の魅力発信・交流スペース「コトサイト」を開設し、地場産品の販路開拓支援のほか、圏域内のイベント情報等の発信、地域資源を活用した体験コーナーや図書コーナーの設置など、地域の魅力発信スペース等における企画展示やイベントを実施した。
事業の今後について	今後も継続して実施し、中心商店街への出店を促進し、にぎわいの創出を図る。

④中心商店街稼ぐ力向上支援事業（山口市）

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
事業概要	中心商店街全体の稼ぐ力の向上に向けて、QRコード等を利用したキャッシュレス化やスタンプカード・クーポン機能のデジタル化等スマート商店街に資する取組や、多種多様な店舗が集積している環境を最大限に生かすため事業者間連携による新しいサービスの創出、大学・地域との連携による新たな商品の開発、広域からの来街者の増加に資する取組等について、既存店舗等が負担する経費の一部を助成する。
国の支援措置名及び 支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）（内閣府）（令和 7 年度） [認定基本計画：地方創生推進交付金（内閣府）（令和 3 年度～令和 4 年度） デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和 5 年度～令和 6 年度補助金）]
事業目標値・最新値 及び進捗状況	(まちゼミと合わせての事業目標値・最新値) 事業目標値：閉退店 年平均 1 5 店舗 最新値：年平均 1 3 店舗
事業の今後について	今年度も引き続き「中心商店街稼ぐ力向上支援事業」を実施し、既存店舗の営業支援を行う。

まちゼミ（山口市）

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
事業概要	商店街店舗の店員が自ら講師となって、プロならではの専門知識や情報、コツを来店者に無料で教えるミニ講座を定期的開催する。
国の支援措置名及び 支援期間	国の支援措置なし

事業目標値・最新値 及び進捗状況	(中心商店街稼ぐ力向上支援事業と合わせての事業目標値・最新値) 事業目標値：閉退店 年平均 15 店舗 最新値：年平均 13 店舗 商店街店舗の店員が自ら講師となり、新規顧客やリピーターづくりを行う本事業を 10 講座開催し、多数の受講者があった。
事業の今後について	今年度も引き続き「まちゼミ」を実施し、既存店舗の営業支援を行う。

●目標達成の見通し及び今後の対策

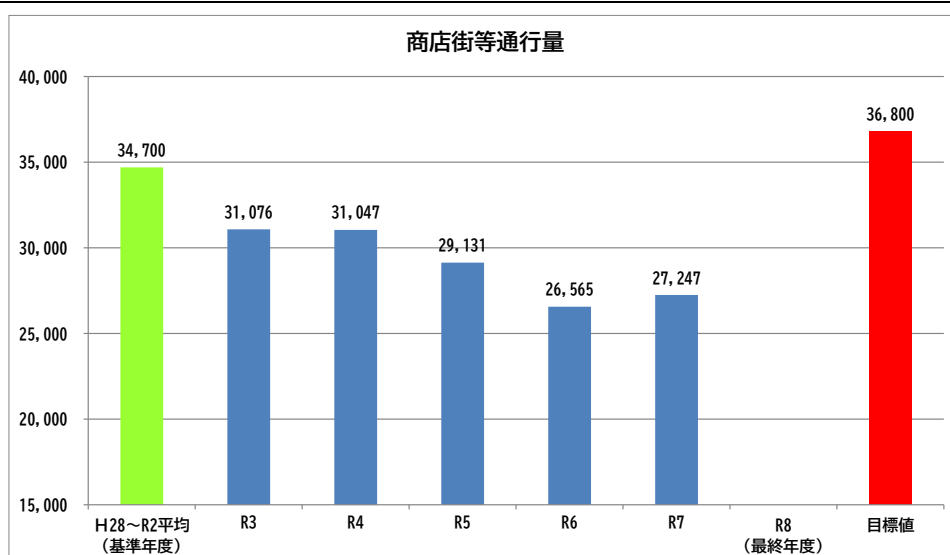
閉退店と新規出店が継続的に発生するなかで、全体としては基準値を上回る水準を維持しており、目標達成に寄与する主要事業については、それぞれ一定の効果が出ている。物価高や人手不足等の影響により出店ペースは年度ごとにばらつきがあるものの、支援制度の継続や相談件数の状況から、累計ベースで一定の成果を見込んでいる。

令和7年度は、「中心商店街への新規出店数」が閉退店の数に及ばなかったものの、令和8年度は百貨店の中に大手スーパーが進出することもあり、中心商店街へのプラスの波及効果があることが期待される。また、新規出店に関する問い合わせ件数も多い状況となっているため、計画終了時点においても概ね目標水準に近い数値を維持しつつ、「中心商店街営業店舗数」については、目標達成が十分に見込まれる見通しとしている。

今後については、引き続き、空き店舗への出店に係る改装費用等の支援や開業に関する相談窓口、新規出店に関する各種情報のワンストップ化により、空き店舗の減少に取り組む。タウンマネージャーを中心として、閉退店の情報をいち早くつかむことにより、新規出店に向けた迅速な情報提供、相談につなげる取組を進めることで、営業店舗数の維持・向上を図る。

(2)「商店街等通行量(通常時の平日・休日平均)」※目標設定の考え方認定基本計画P67～P71 参照

●調査結果と分析



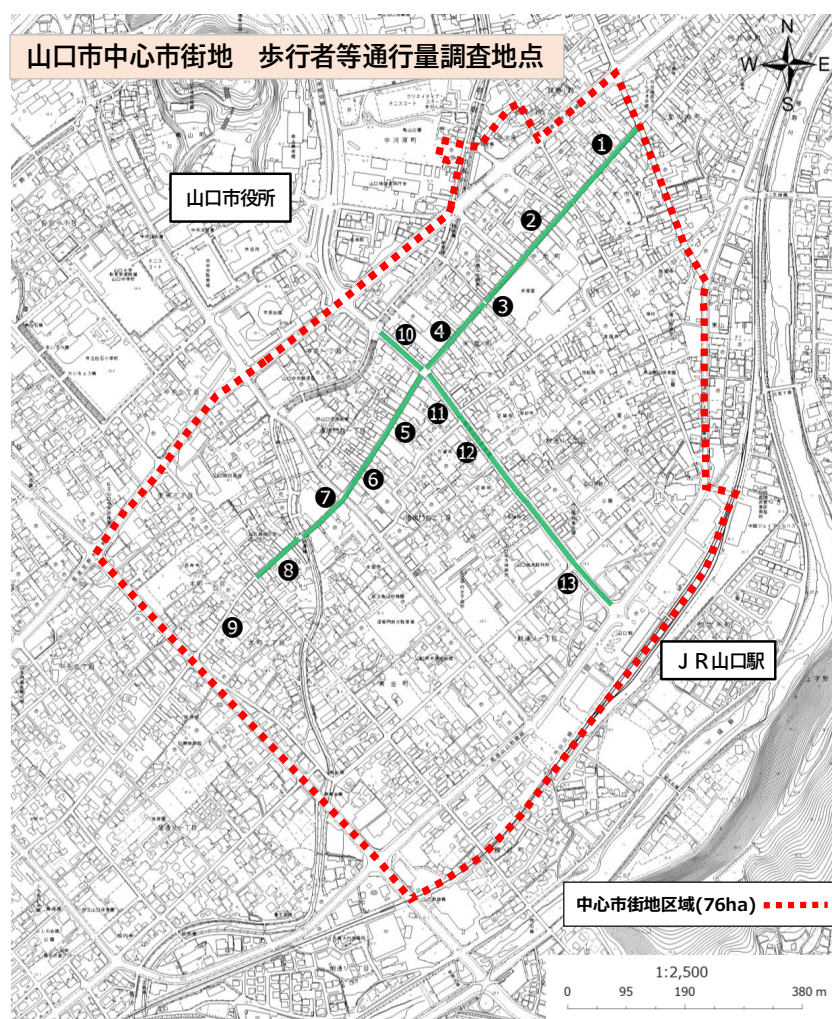
年	人/日
H28～R2平均 (基準年度)	34,700
R3	31,076
R4	31,047
R5	29,131
R6	26,565
R7	27,247
R8 (最終年度)	
目標値	36,800

※調査方法：13地点に調査員を配置し通行量調査を実施

※調査月：10月（平日及び休日 各1日に調査し、両日の平均値）

※調査主体：山口市（山口商工会議所へ委託）

※調査対象：中心市街地主要13地点の通行者（自転車含む）



調査地点別通行量比較表

調査地点	令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		令和7年		令和8年	
	10月10日	10月12日	10月9日	10月11日	10月8日	10月10日	10月6日	10月8日	10月5日	10月7日		
	日曜	火曜	日曜	火曜	日曜	火曜	日曜	火曜	日曜	火曜		
	晴	曇時々雨	雨	晴	雨	晴	曇時々雨	雨のち晴れ	晴	晴		
①大市・岩見屋寝具店前	1,208	798	810	790	900	842	742	798	928	808		
②中市・金子染物店前	3,010	1,958	2,474	1,968	2,152	2,066	1,928	2,252	2,604	1,942		
③中市・JTB山口店前	6,588	4,202	5,780	4,240	5,070	3,580	5,128	3,548	5,022	3,356		
④米屋町・みずほ銀行山口支店前	5,588	3,582	5,174	3,598	5,044	3,500	4,354	3,208	4,584	2,864		
⑤道場門前・旧和韓業膳茶房友前	5,228	2,662	5,224	3,164	4,632	2,926	4,238	2,856	3,896	2,518		
⑥道場門前・コーヒーボーイ前	3,588	2,260	3,730	2,826	3,570	2,752	3,086	2,482	3,004	2,456		
⑦道場門前・どうもんパーク前	2,930	2,054	4,602	2,326	2,690	2,272	1,888	1,768	3,846	2,262		
⑧本町・ビューティ愛前	1,770	1,754	1,224	2,128	1,250	2,178	1,292	1,822	1,396	1,872		
⑨荒高・旧吉永時計店前	1,064	816	716	1,138	820	1,170	918	938	882	1,112		
⑩新町・ギャルソン前	1,522	1,004	1,850	1,478	1,520	1,202	1,152	1,494	1,442	1,262		
⑪駅通り・無印良品山口店前	1,788	1,186	1,238	1,290	1,640	1,498	1,676	1,442	1,454	1,030		
⑫駅通り・万徳寺前	1,642	1,242	1,162	1,438	1,516	1,402	1,137	1,144	1,238	1,330		
⑬駅通り・熟成からあげAomizu前	958	1,750	664	1,062	916	1,154	866	972	776	610		
	36,884	25,268	34,648	27,446	31,720	26,542	28,405	24,724	31,072	23,422	0	0

〈分析内容〉

歩行者等通行量については、昨年度と比較して、平日は微減しているものの、休日は増加している。

商店街アーケードのある③～⑥までの地点では一律に減少しているものの、⑦～⑩までの地点ほか数地点において、増加している場所もある。

なお、平日の通行量の減少には、市全体の人口減少や電子商取引の普及に伴う実店舗での買い物機会の減少等の構造的要因が影響していると考えられる。

しかし、⑦付近のように、休日の通行量が倍増している地点もあり、今後の事業展開の仕方によっては、さらなる増加を見込める可能性があるため、牽引する地点を複数確保することで、少しでも目標値に近づける見込みである。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①新本庁舎整備事業（新本庁舎棟、市民交流棟、新本庁舎前広場、立体駐車場整備）（山口市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	「市民が集う親しみをもてる庁舎」を目指し、「新本庁舎棟」とともに、市民が多目的に利用可能な「市民交流棟」、市民の憩いの場となる「広場」及び都市計画駐車場と来街者駐車場を合築した新たな立体駐車場を整備する。
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集中央支援事業（山口市中心市街地周辺地区）（国土交通省）（令和3年度～令和7年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 580人/日 令和7年度途中に新本庁舎棟の建設工事が完了、供用を開始。実績は令和8年度に計上。
事業の今後について	令和8年度は、市民交流棟や立体駐車場整備に向けた整備を開始する。

②商店街の店舗対策等による効果

1) 空き店舗対策事業

あきないのまち支援事業（山口市）

事業実施期間	平成20年度～【実施中】
事業概要	空き店舗への新規開業者に対して、出店時の店舗改修に係る費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和3年7月～令和9年3月（令和3年度～令和8年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	（店舗取得支援事業、店舗改修支援事業と合わせての事業目標値・最新値） 事業目標値 270人/日 最新値 184人/日 あきないのまち支援事業では、令和7年度に9店舗の補助実績があった。
事業の今後について	令和8年度も、あきないのまち支援事業を継続して実施し、空き店舗への出店促進を図る。

店舗改修支援事業（山口市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	老朽化や店舗一体型住居が原因で長期間空き店舗となっている物件をまちづくり事業者が借り受け、リノベーション等の手法により建物を再生し、テナントとして出店者にサブリースする事業に対して改修費用の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（内閣府）（令和7年度） 〔認定基本計画：地方創生推進交付金（内閣府）（令和3年度～令和4年度） デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和5年度～令和6年度補助金）〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	（あきないのまち支援事業、店舗取得支援事業と合わせての事業目標値・最新値） 事業目標値 270人/日 最新値 184人/日 店舗改修支援事業としての実績はない。
事業の今後について	令和8年度は、店舗改修支援事業としての交渉案件は現時点ではない。

店舗取得支援事業等（山口市）

事業実施期間	令和4年度～【実施中】
--------	-------------

事業概要	商店街組合等がアーケードに面した店舗 1 階部分の商業床を買い取り、にぎわいの創出に資する店舗としてサブリースして運営する事業に対して店舗取得費の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）（内閣府）（令和 7 年度） 〔認定基本計画：地方創生推進交付金（内閣府）（令和 3 年度～令和 4 年度） デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和 5 年度～令和 6 年度補助金）〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	（あきないのまち支援事業、店舗改修支援事業と合わせての事業目標値・最新値） 事業目標値 270 人/日 最新値 184 人/日 店舗取得支援事業でマンション 1 階部分に 1 店舗営業を開始している。
事業の今後について	令和 8 年度は、店舗取得支援事業としての交渉案件は現時点ではない。

2) 既存店舗対策

中心商店街稼ぐ力向上支援事業（山口市）

事業実施期間	令和 3 年度～【実施中】
事業概要	中心商店街全体の稼ぐ力の向上に向けて、QRコード等を利用したキャッシュレス化やスタンプカード・クーポン機能のデジタル化等スマート商店街に資する取組や、多種多様な店舗が集積している環境を最大限に生かすため事業者間連携による新しいサービスの創出、大学・地域との連携による新たな商品の開発、広域からの来街者の増加に資する取組等について、既存店舗等が負担する経費の一部を助成する。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第 2 世代交付金）（内閣府）（令和 7 年度） 〔認定基本計画：地方創生推進交付金（内閣府）（令和 3 年度～令和 4 年度） デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和 5 年度～令和 6 年度補助金）〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 250 人/日 最新値 140 人/日 令和 7 年度は、補助金の申請はなかったが、「稼ぐ力」向上支援セミナーとして、先進的な取り組みを行う商店街を視察。また、大型ビジョンやデジタルサイネージを活用し、既存店舗を来街者に広く PR した。

事業の今後について	令和８年度も、対象事業に係る助成を継続する。
-----------	------------------------

③歩きたくなるまちなか整備事業（山口駅通り、商店街アーケード、大市商店街）（山口市）

事業実施期間	歩きたくなるまちなか整備事業（山口駅通り） 令和６年度～令和８年度【未実施】 歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード） 令和４年度～令和９年度【実施中】 歩きたくなるまちなか整備事業（大市商店街） 令和４年度～令和７年度【実施中】
事業概要	歩きたくなるまちなか整備事業（山口駅通り） 道路バリアフリー化に併せた修景整備 歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード） アーケード内のタイル舗装を改修 歩きたくなるまちなか整備事業（大市商店街） 大市商店街の道路の修景整備
国の支援措置名及び支援期間	都市構造再編集集中支援事業（山口市中心市街地周辺地区） 令和３年度～令和７年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 ７５０人／日 最新値 ２６８人／日 歩きたくなるまちなか整備事業（商店街アーケード）については、先行する商店街（米屋町商店街）のタイル舗装工事が完了し、事業効果が出始めている。
事業の今後について	商店街アーケードのタイル舗装の改修工事を継続する。

④アートでつなぐまちの活性化事業（山口市）

事業実施期間	令和３年度～【実施中】
事業概要	アートが持つ人と人をつなぐツールとしての機能を活用して、ＹＣＡＭ作品の展示等を空き店舗・空きスペースを利活用して実施。
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業 令和３年７月～令和９年３月（令和３年度～令和８年度）
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 １７０人／日 最新値 １４２人／日 令和７年度は、中心市街地においてアートコミュニケーターの育成を行うとともに、市内外からの誘客を促すため、「架空の学校アルスコーレ」を開催した。 学びを実践する場として「やまぐち秋の盆踊り」を開催し、コース間の連携を深化させ、コミュニティの足場を固めた。 また、子どもを核とした回遊性の向上を図るため、コロガル公園の知見を活用した遊び場「コロガルあそびのひゃっか

	てん」を山口井筒屋2階に開設した。 個々の事業の実施期間中は多くの来場者があった。
事業の今後について	YCAMの人気コンテンツであるコロガルシリーズを継続実施するとともに、著名なアーティストをゲストに迎え、引き続き「まちなか」に巻き込むかたちでの盆踊り等の実施により、来街者の増加を見込む。
⑤まちなかクリエイティブフィールド事業（山口市）	
事業実施期間	令和3年度～【済】
事業概要	商店街の空き店舗や空きスペースを有効的に活用し、子ども達が主体的に地域に関わることができる仕組みを持つ拠点を作り、商店街を盛り上げる様々な活動を展開する。
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（内閣府）（令和7年度） 〔認定基本計画：地方創生推進交付金（内閣府）（令和3年度～令和4年度） デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和5年度～令和6年度補助金）〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 20人/日 最新値 33人/日 中心商店街の空き店舗に活動拠点として「VIVISTOP（ヴィヴィストップ）」を開設し、子ども達のアイデア出しやものづくりの場としての展開を行った。 令和7年度は、年間通じて「VIVISTOP YAMAGUCHI」を運営し、子どもたちが夏休みの間に制作したロボットを用いて「VIVITA ROBOCON」（ロボコン）を開催したり、「究極のカフェ」プロジェクトを展開した。
事業の今後について	令和8年度は、まちなかクリエイティブフィールド事業としての案件は現時点ではない。
⑥グランドパレス米屋町プライムマークス（分譲マンション）（第一交通産業株式会社）	
事業実施期間	令和2年度～令和4年度【済】
事業概要	都市機能が集約され利便性の高い中心市街地において、魅力ある店舗付き共同住宅を供給
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 90人/日 最新値 90人/日 令和7年12月に全69戸が完売。
事業の今後について	完売につき、事業としては完了。

●目標達成の見通し及び今後の対策

目標達成に必要な事業は順調に進んでいるものの、コロナ禍に加速した電子商取引の普及による実店舗における買い物機会の減少や、少子高齢化の進展に見られる社会構造的な要因により、商店街の通行量は今後も減少圧力が継続することが見込まれ、第3期計画期間中に目標値を達成することは困難な見通しである。

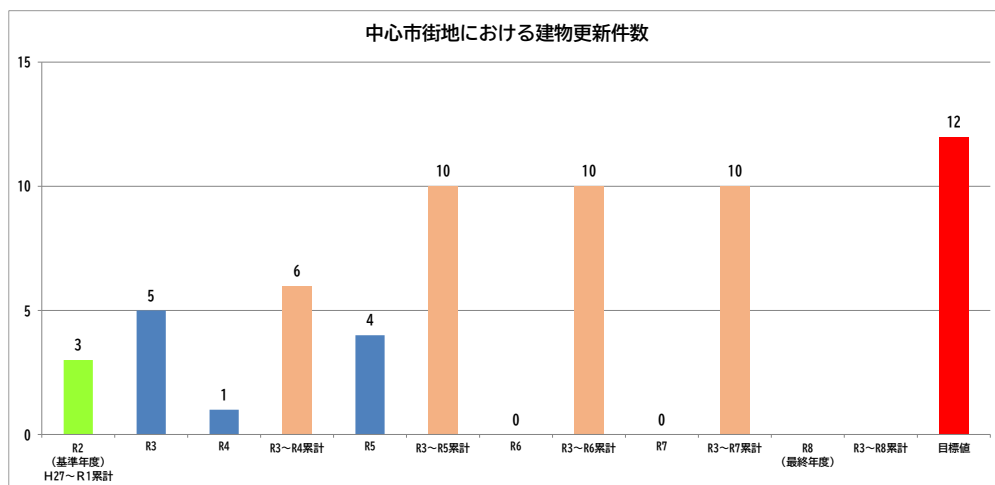
一方で、エリアや時間帯を限定した利用・滞留の増加といった質的な変化は徐々に現れてきており、商店街の通行量について、平日は微減しているものの、休日は増加の傾向を見せており、今後の事業展開によるV字回復を見込んでいる。商店街内に立地する民間マンションも完売となり、中心市街地周辺のマンション開発も進んでいるため、商店街の休日利用が増加していると推察される。

令和8年度は、既存事業の着実な推進に加え、10月から12月にかけて国内最大級の大型観光キャンペーンであるデスティネーションキャンペーン（DC）が開催されることから、この好機をまちの魅力向上につなげるなかで、牽引する地点を複数確保し、回遊性が高まる取組を進める。

（３）「中心市街地における建物更新件数」

※目標設定の考え方認定基本計画 P72～P74 参照

●調査結果と分析



※調査方法：現地調査

※調査月：3月末

※調査主体：山口市

※調査対象：中心市街地の老朽建築物

〈分析内容〉

「山口駅前地区住宅市街地総合整備事業」の善福寺地蔵通り線については、やや停滞気味ではあるものの確実に進捗している。拡幅工事に伴う住宅等の建築物の除却が進み、狭隘道路が拡幅され、交差点の視距も改良され安全安心なまちづくりを進めることを見込む。

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①山口駅前地区住宅市街地総合整備事業（山口市）

事業実施期間	平成25年度～令和7年度【済】
事業概要	密集市街地における老朽建築物の除却・建替え等を、善福寺地蔵通り線、相物小路・銭湯小路線において実施する。
国の支援措置名及び支援期間	防災・安全交付金（住宅市街地総合整備事業） 平成30年度～令和5年度
事業目標値・最新値及び進捗状況	事業目標値 6件（令和3から令和8年度までの累計） 最新値 10件 令和7年度は、除却の実績なし。
事業の今後について	善福寺地蔵通り線の道路拡幅工事を実施予定。

②店舗改修支援事業【再掲】（山口市）

事業実施期間	令和3年度～【実施中】
事業概要	老朽化や店舗一体型住居が原因で長期間空き店舗となっている物件をまちづくり事業者が借り受け、リノベーション等の手法により建物を再生し、テナントとして出店者にサブリースする事業に対して改修費用の一部を助成する
国の支援措置名及び支援期間	新しい地方経済・生活環境創生交付金（第2世代交付金）（内閣府）（令和7年度） 〔認定基本計画：地方創生推進交付金（内閣府）（令和3年度～令和4年度） デジタル田園都市国家構想交付金（内閣府）（令和5年度～令和6年度補助金）〕
事業目標値・最新値及び進捗状況	（店舗取得支援事業と合わせての事業目標値・最新値） 事業目標値 6件（令和3から令和8年度までの累計） 最新値：0件 令和7年度も、問い合わせや、実施に向けた協議はあったものの実績はなかった。
事業の今後について	令和8年度は、店舗改修支援事業としての交渉案件は現時点ではない。

●目標達成の見通し及び今後の対策

「山口駅前地区住宅市街地総合整備事業」は令和7年度までの事業だが、計画期間内に道路整備や老朽建築物除却を中心に一定の進捗があった。令和8年度も関連工事は継続しており、老朽建築物等の更新が計画的に図られるため、累計では目標が達成され、安全安心なまちづくりが図られる見込み。なお、善福寺地蔵通り線において、交渉が難航している箇所が一部あるものの、合意に向けて事業を実施していく。

「店舗改修支援事業」についても、令和7年度に事業としての実績はなかったが、民間主導の動きがあり、商店街の主要地点における大型空き店舗が解消された。今後、商店街全体に係る雰囲気への牽引が期待される。